

医療提供体制改革の展望

- 経営環境にかかわるデータ -

- 2025年1月30日
- 新春座談会
- 慶應義塾大学・埼玉県立大学
- 田中 滋

人材不足

■ 人員減

- 運輸：トラック運転手、バス運転手
- 建設・土木従事者：特に大工
- 自衛官 etc.

■ 就職希望者減

- 公務員
- 教員：特に小学校
- 宿泊業、飲食業従事者
- 空港業務員 etc.

人材不足

■ 人員増 < ニーズ増

- 医療
- 介護
- 障害
- 保育
- 情報、DX, AI関連
- その他の経済成長分野

医療・介護・福祉職就業者数 1990年からの変化

- 医師 21万人 → 33万人 (2022)
 - 病院医師 14万人 → 22万人
 - 医育機関医師 4万人 → 6万人
- 看護職員 83万人 → 173万人 (2020)
 - 看護師 42万人 → 130万人
 - 病院従事看護職員 79万人 → 101万人

資料出所：医師・歯科医師・薬剤師調査など

医療・介護・福祉職就業者数推移

- 歯科医師 7万人(1990年) → 9万人(2022)
- 薬剤師 15万人(1990年) → 32万人(2022)
- 医療施設従事者 2万人 → 3万人
- 介護職員 55万人(2000年) → 212万人(2022年)
- 保育士 38万人(2008年) → 65万人(2020年)
- 障害福祉 59万人(2006年) → 110万人(2019年)

資料出所：医師・歯科医師・薬剤師調査、衛生行政報告例、介護サービス施設・事業所調査など

患者数等の推移

- 入院患者数 152万人 (2002年)→121万人 (2023年)
 - うち病院 139万人 → 112万人
- 外来患者数 733万人 (1996年)→ 728万人 (2023年)
 - うち病院 230万人 → 152万人
- 在宅医療利用者 72万人 (2002年) →240万人 (2023年)
- 一般病床数 100万 → 89万
- 一般病床利用率 80.1% → 70.8%

2040年を見据える：地域差

■ 15-64歳人口

- 東京都 944-906、世田谷区 65-63、川崎市 103-100
- 秋田県 46-32、高知県 34-26

■ 65歳以上人口

- 東京都 192-203、世田谷区 19-26、川崎市 32-43
- 秋田県 36-32、高知県 24-22、
- 富山県・和歌山県・島根県・山口県・徳島県

資料出所：国立社会保障・人口問題研究所

- 商業：行商・露店・小売店・百貨店・スーパーマーケット・コンビニエンスストア・インターネット販売…
- 交通：牛車・輿・駕籠・馬車・汽車・自動車・電気機関車・電車・飛行機…
- 通信：狼煙・伝書鳩・手紙・飛脚・手旗信号・電信・郵便・無線・有線電話・電報・テレックス・携帯電話・衛星電話・インターネット…
- マスコミュニケーション：高札御触・瓦版・新聞・雑誌・ラジオ・テレビ・SNS…
- 医療提供手段：